

新まち通信

～明日のために

～ <http://www.town.fujimi.nagano.jp>

地域が元気になるために、地域資源を活かした取り組みが始まっています！



上蔦木集落では古くから家々に伝わる「屋号」を復活させ、宿場町として栄えた地域の資源にしようとして、住民有志グループ「元気を出すぞ蔦木宿の会」が発足し、九十一枚の屋号の木製看板を製作しました。12月に行なわれた「屋号復活元年記念祭」では、みごとに復活した屋号が書かれた看板が各家々に設置され、町内外で大きな反響を呼んでいます。

最後の杉板に屋号を書き込む会員の皆さん
神戸八幡社の歴史について学ぶ参加者

また、御射山神戸集落では、有志が集まって地元学を始めたこと

をきっかけに、地域の魅力を再発見し資源として活用する取り組みがその輪を広げ、集落内の史跡や美しい景観を楽しむための散策コースが設定され、秋に開催された「御射山神戸集落散策と収穫祭」には多くの住民が参加し、メイン会場となった神戸八幡社境内は活気に溢れていました。このほど歴史散策マップも完成し、地区内の七つの常会に掲示されたほか、地元の小中学校や町図書館、役場などに寄贈されています。



下蔦木集落でも、富士見高校園芸科の生徒と住民、町役場が協働して有害鳥獣対策に取り組むための「さる・柿合戦プロジェクト」が立ち上がり、高齢化に伴ってもがれなくなった渋柿を猿が来る前に収穫することで、被害を未然に防ぐ取り組みが行なわれました。柿は道の駅「信州蔦木宿」で販売されましたが、わずか5分で完売。猿対策を目的に始まった取り組みですが、柿という地域資源をあらためて見つめ直す良いきっかけになったと高校生と地域の方々は口をそろえて言います。

そのほか、町内のあちこちで同様の取り組みが始まりつつあります。いずれも、その地域に住む皆さんが中心となって、先人が残してくれた地域資源にあらためて目を向け活かすことで、集落が元気を取り戻して今後活躍が非常に期待されています。新しいまちづくり係では、このような地域の取り組みを今年も応援してまいります。

このコーナーに関する“ご意見ご感想”をお寄せください。

【お問い合わせ】総務課新しいまちづくり係

☎62-9328 (有)9328 e-mail: shinmachi@town.fujimi.nagano.jp

高原の風に吹かれて

アドベンチャーレースに寄せられた声

多くの町民の皆様のご協力で、アドベンチャーレースを春秋2回開催することができました。延べ850名を超える参加者がありました。秋の大会参加者に実施したアンケートの感想をここでご紹介します。

- * スタッフの皆様が一生懸命盛り上げてくださっている姿に感動しました。とってもすばらしい大会だと思います。お疲れ様でした。(自転車参加者)
- * スキー場だけあってとても寒かった。寒さ対策をもっとアピールして(自転車参加者)
- * 朝早いスタートなのに住民の人が応援してくださったりして気持ちよく走れました。(自転車参加者)
- * 地元の消防団の方、沿道で旗を振って応援してくださった方々のおかげで楽しく走ることができました。ありがとうございました。(自転車参加者)
- * 今回は晴れていてとても楽しめました。来年もチャレンジします。今度は泊まりで参加します。(ランニング参加者)
- * 富士見の方々の路上声援にはいつも励まされます。(ランニング参加者)
- * 強風や朝の寒さなどを含め厳しいコンディション、コースでしたがそれを上回るキレイな景色、晴天と日差しにめぐまれすばらしい大会でした。来年もチャレンジしたいと思います。(自転車参加者)



お礼の言葉が多く寄せられています。景色・地元の声援など、参加選手には忘れられないものとなっているようです。町民の皆様を支えられ、富士見の代表的イベントに成長して欲しいと願っています。変わらぬご支援、よろしくをお願いします。